

ふるさと東総

令和7年3月1日発行 No.24



中学生海外派遣研修事業 交流校であるマクタブ・サルタン・アブバカール校にて

〈編集・発行〉

東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2604

千葉県旭市高生1番地

(旭市役所海上庁舎2階)

電話:0479-85-8040

FAX:0479-85-8045

URL:<http://www.tksj.jp/>

二次元コード



CONTENTS 目次

●東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ	2
●ごみ処理広域化推進事業	2
●中学生海外派遣研修事業	3
●職員採用試験合同実施事業	3
●職員共同研修事業	3
●銚子連絡道路整備促進事業	4
●組合議会	4

はじめに ～ごみ処理事業の効率化へ向けて～

令和6年は新紙幣の発行や、パリオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍など、明るい話題が多くありました。

当組合の事業では、5年ぶりとなる中学生海外派遣研修事業を実施することができました。参加された皆さんには、この貴重な経験を今後の学校生活、そして将来に活かしていただきたいと思います。

また、銚子連絡道路も二期区間の横芝光町～匝瑳市間が開通し、全線開通への機運も高まっています。銚子連絡道路の整備は、利便性が高まるだけでなく、産業振興や救急医療体制の強化にもつながるものです。引き続き、一日も早い全線開通を国・県に対し要望してまいります。

広域ごみ処理事業では、東総地区クリーンセンターの稼働開始から4年となり、現在、順調に三市のごみ処理が行われています。一方、各市のステーション収集ごみは、東総地区クリーンセンターへ直接運搬・処理されていますが、運搬にかかる費用と時間が大きな課題となっていることから、旭市及び匝瑳市の既存ごみ処理施設を解体し新たに中継施設として整備することとしています。そのため、令和6年度からは匝瑳市の既存ごみ処理施設（旧松山清掃工場）の解体撤去工事を進めているところであり、今後も、ごみ処理費用の縮減、事業の効率化に取り組んでまいりますので、圏域内の住民の皆様には、ごみの減量化、分別の徹底と併せまして、事業推進へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東総地区広域市町村圏事務組合管理者（旭市長） 米本 弥一郎



ごみ処理広域化推進事業

■夏休み東総地区クリーンセンター施設見学会

令和6年8月7日～8日に、「夏休み東総地区クリーンセンター施設見学会」を実施し、小学生など43名が参加しました。

この施設見学会では、普段は見ることができないマテリアルリサイクル推進施設の見学も行われ、圧縮された缶やペットボトルを間近で見た子どもたちからは驚きの声が上がっていました。

夏休み施設見学会は、来年度も開催を予定しています。



▲見学会の様子

■新たな中継施設を整備

ごみの収集運搬にかかる費用の縮減や運搬時間の短縮、東総地区クリーンセンター周辺の交通公害の軽減のため、旭市及び匝瑳市の既存ごみ処理施設を解体撤去し、それぞれに新たな中継施設を整備します。

現在、匝瑳中継施設の整備に関する事業を実施しており、令和6年度から旧松山清掃工場の解体撤去工事を行っています。



▲旧松山清掃工場（匝瑳市）

中学生海外派遣研修事業

銚子市、旭市、匝瑳市の中学2年生21名の参加による「東総地区中学生海外派遣事業」が、令和6年7月23日から27日にシンガポール及びマレーシアにおいて実施されました。

事前の研修会で計画した行動予定に従ってシンガポール市内を散策する班別自主研修、マクタブ・サルタン・アブバカル校（マレーシア・ジョホールバル）を訪れての交流会など、積極的な英会話を実践する研修が行われました。

班別自主研修では、異国の街に戸惑いながらも、身振り手振りを加えながら道を尋ねたり買い物をしたりと、皆で協力し合いながら楽しく一日を過ごすことができました。

現地校との交流会では、けん玉や風鈴、福笑いといった日本ならではの記念品の贈呈、大縄跳びや書道の実演、よさこいソーランを披露し、現地校の生徒達も大いに盛り上がりしました。交流会後は、現地校の生徒から校内の案内を受けながら英語でコミュニケーションを取るなど、短い時間ではありましたが、異国の学生と交流することができたことは貴重な体験となりました。

多民族国家であるシンガポールで、公用語である英語を通してお互いの文化・生活・宗教を尊重し合いながら生活している様子を体感することができました。

将来を担う中学生たちにとって、国際社会や異文化への関心を深めるきっかけとなりました。



▲マールライオンパークで記念撮影



▲交流会の様子（よさこいを披露）



▲交流会後の校内見学の様子

職員採用試験合同実施事業

- ◆ 目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験（第1次試験）を合同で実施し、経費の節減を図ります。（※）
 - ◆ 実施日：令和6年9月22日(日)
 - ◆ 試験会場：銚子市立銚子高等学校
 - ◆ 参加団体：銚子市、旭市、匝瑳市、匝瑳市横芝光町消防組合
 - ◆ 試験職種：11職種（一般行政職、技術職等）
 - ◆ 応募者数：156人 ◆ 受験者数：132人
- ※第2次試験以降の試験（面接等）は、各団体で行っています。

職員共同研修事業

- ◆ 目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに指導力及び勤務能力の向上を図ります。
- ◆ 主な研修と対象となる職員
 - ・ 新任職員研修：新規採用職員
 - ・ 初級職員研修：在職期間4年以上
 - ・ 中級職員研修：在職期間10年以上
 - ・ 監督者研修：係長又は同等の職にある職員等
- ◆ 修了者数：計339人

銚子連絡道路整備促進事業

■地区大会

令和6年5月23日、匝瑳市八日市場ドームにおいて、銚子連絡道路整備促進地区大会を開催しました。大会主催者代表としてあいさつに立った山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会会長（旭市長）は、「横芝光町から匝瑳市間の開通により更なる整備促進への機運は急速に高まっている」と一日も早い全線開通を訴えました。



▲あいさつする米本会長



▲穴澤千葉県副知事（右）へ要望書を提出

■要望活動

地区大会での決議をふまえて、令和6年11月19日、山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、地元選出国會議員である小池正昭議員の紹介で、衆・参国會議員、財務省、国土交通省及び関東地方整備局を訪問し、銚子連絡道路の早期完成に向けての要望活動を行いました。



▲国土交通省での要望活動の様子（左：吉岡事務次官と面談、右：山本道路局長と面談）



組合議会

■組合議会とは

組合議会は、組合を構成する銚子市、旭市、匝瑳市から選出された9名の議員で構成されています。

年2回（9月と3月）の定例会のほか、必要に応じて臨時会が開催され、組合予算の決定・決算の認定等を審議します。

■組合議員（令和7年3月1日現在）

議長 林 晴道（旭市）

副議長 広野 恭代（銚子市）

議員

石上 友寛（銚子市） 石上 允康（銚子市）

飯嶋 正利（旭市） 宮澤 芳雄（旭市）

行木 光一（匝瑳市） 荻谷 進一（匝瑳市）

武田 光由（匝瑳市）